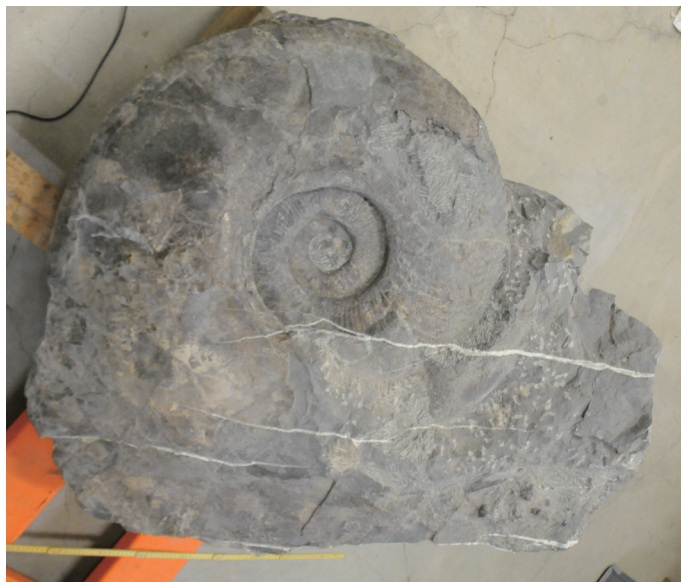




2022 年度の主なクリーニング資料



おおゆうばり
大夕張産アンモナイト
ほりた きぞう
(堀田良幸氏寄贈、2020-020)



ほべつ たけだりゅうじ くりはら
穂別産アンモナイト (武田隆治氏・栗原健一氏
寄贈、2020-029)



すいてい
推定 300kg と高重量になるため、
クレーンなどで裏返しました。

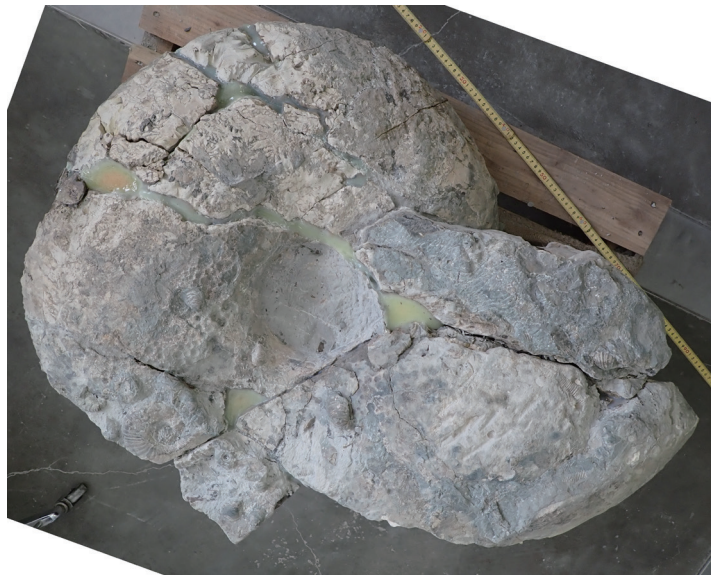
当館で最大級となる直径 1 メートルのアンモナイト 3 点のクリーニングを進めました。

[ホッピーだより No. 439](#) ^{しょうかい}で紹介したアンモナイトの内、2 点 (2020-020、2020-029) については、片側 (写真で見えている側) ^{しゅうりょう}のクリーニングが終了しました。クレーンで化石標本を裏返し、^{うら}これら標本の裏側のクリーニングを進めています。

[ホッピーだより No. 460](#)、[No. 462](#) で紹介した 2022-013 のクリーニングは、ほぼ終了しました。地層中にわずかに取り残した部分の回収を試みた後に、^{てんじ}展示できるようにしていきます。

これらの 3 点の大型アンモナイトのクリーニングは、2 名の学芸補助員 (阿部 ^{おおがた} 恭子、吉川幸叙) ^{ほじょ}に加えて、中野益年 ^{あべ} ボランティアに進めていただきました。

2022 年に採集した大型アンモナイト
(2022-013)



カムイサウルスのこれまで⑬



化石クリーニングで使用した道具。左からハンマー、タガネ、エアスクライバー（圧縮空気^{あつしゆく}で針^{はり}を振動させる道具^{しんどう}）、デザインナイフ、針^{てせい}を付けた手製の道具。



エアスクライバーでのクリーニング作業。



歯化石のクリーニング作業。

穂別博物館では、学芸補助員^{ほべつ} 1 名が岩石から化石を取り出すクリーニング作業を担当していました。カムイサウルスのクリーニング作業を早めるために、学芸補助員を 2013 年に 2 名に、2014 年に 4 名に、2015 年に 5 名まで増員しました。また、2015 年からはボランティア 1



ジャケットで持ち帰った化石のクリーニング作業。

名が常駐^{じょうちゆう}し、クリーニング作業を進めました。加えて、一部の化石は北海道大学総合博物館ボランティア、群馬県の（有）ゴビサポートジャパンでクリーニング作業を進めていただきました。

カムイサウルスのクリーニング作業が終了^{しゅうりよう}したのが、2018 年 9 月です。作業中に撮影した化石と化石産状^{さんじょう}の写真は 32,000 枚と、野外での発掘調査で撮影した写真枚数^{まいすう}の 4,000 枚を大きく超えました。

ともひろ
学芸員 西村智弘



むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10 名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2023 年 6 月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2023 年 7 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

7 月 17 日「北海道みんなの日（道民の日）」は北海道在住の方の観覧料が無料となります。

休館日 町民無料観覧日